

講義内容	MEMO
<p>第1章 アロマセラピーとエッセンシャルオイル</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ アロマセラピーとは ・ エッセンシャルオイルの定義 ・ 植物にとってのエッセンシャルオイル ・ エッセンシャルオイルの性質 — 水と油のモノサシ — ・ エッセンシャルオイルの有機化学 ・ 芳香蒸留水（フローラルウォーター） <p>第2章 エッセンシャルオイルに含まれている芳香分子</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 芳香分子と化学構造 ・ 化学種 <p>第3章 エッセンシャルオイルの鑑定</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ エッセンシャルオイルの品質と表示について ・ アロマセラピー用のエッセンシャルオイルとは ・ 学名、産地、生育条件、蒸留部位、特性成分 ・ 抽出方法と含有成分 ・ 検査（官能試験、物性試験、GC/MS 分析） ・ 分析表の読み方 ・ 植物油 	<p>アロマセラピーを安全かつ効果的に行うには品質の確かなエッセンシャルオイルを正しく使うことです。</p> <p>エッセンシャルオイルの性質について学びます。</p> <p>エッセンシャルオイルにはたくさんの芳香分子（成分）が含まれています。その性質を知ることがアロマセラピーの第一歩です。</p> <p>化学はとっつきにくい部分もありますが、アロマセラピーに必要な部分だけをわかりやすく解説します。アロマセラピーを体系的に学ぶ礎となります。</p> <p>品質な確かなエッセンシャルオイルを見極めるための検査や分析表の読み方などを学びます。</p> <p>また、芳香蒸留水や植物油の性質についても学びます。</p>

<p>第4章 エッセンシャルオイルの使用法</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ エッセンシャルオイルの安全性、禁忌 ・ エッセンシャルオイルの吸収経路 ・ メディカルアロマテラピーのための投与方法と薬量 ・ セルフケアのための投与方法と薬量 ・ ブレンドの目的と濃度 ・ 料理、製菓への応用 	<p>芳香浴やマッサージだけがエッセンシャルオイルの安全な吸収ルートだと思いませんか？ エッセンシャルオイルに含まれる成分の性質と使用目的に適した吸収ルートとは何かについて学びます。</p> <p>また、お料理やお菓子里にエッセンシャルオイルを天然香料として使い、より美味しくヘルシーに仕上げる方法 Cuisine Aromatique®を学びます。</p>	
<p>第5章 芳香分子の化学種</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ モノテルペン類 	<p>第6章 エッセンシャルオイルのモノグラフ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ レモン ・ スイートオレンジ ・ マンダリン ・ バルサムモミ 	<p>芳香分子をいくつかの化学種に分けて性質を学んでいきます。</p> <p>化学種とそれに該当するエッセンシャルオイルを一つのユニットにして講義を進めます。</p>
<p>第5章 芳香分子の化学種</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ モノテルペノール類 	<p>第6章 エッセンシャルオイルのモノグラフ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ティーツリー ・ ゼラニウム ・ ペパーミント ・ マジョラム ・ セイロンシトロネラ ・ パルマローザ ・ ローズ ・ ネロリ 	<p>モノテルペノール類は多くのエッセンシャルオイルに含まれるメジャーな芳香分子です。</p>

<p>第5章 芳香分子の化学種</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ オキサイド類 	<p>第6章 エッセンシャルオイルのモノグラフ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ローズマリー・シネオール (処方研究：肝臓の疲労) ・ ローズマリー・ベルベノン ・ ユーカリ・ラジアタ (処方研究：小児の気管支炎) ・ ラヴィンサラ (処方研究1：風邪の予防) 	<p>ここからは処方研究がはじまります。どうしてこのエッセンシャルオイルがブレンドされるのかを各々のエッセンシャルオイルの成分とその作用特性から明らかにしていきます。</p> <p>科学的な根拠に基づくアロマセラピーを実践するための基軸になる部分です。</p> <p>※講義時間外にブレンドオイルを各自作ります。</p>
<p>第5章 芳香分子の化学種</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 酸類 ・ エステル類 	<p>第6章 エッセンシャルオイルのモノグラフ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ラヴィンサラ (処方研究2：過労時のケア) (処方研究3：風邪のケア) ・ ニアウリ ・ ローリエ ・ 真正ラベンダー (処方研究：スキンケアローション) 	<p>芳香分子の化学種とエッセンシャルオイルのモノグラフの理解が進むにつれて、レシピに加えるエッセンシャルオイルも多くなり、処方研究もより丁寧さが求められます。</p> <p>※講義時間外にブレンドオイルを各自作ります。</p>
<p>第5章 芳香分子の化学種</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ エーテル類 ・ アルデヒド類 	<p>第6章 エッセンシャルオイルのモノグラフ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ラバンジン（2種） ・ プチグレン（ビターオレンジL） ・ ローマンカモミール (処方研究：ストレス) ・ ウインターグリーン ・ バジル (処方研究・ストレス) 	<p>芳香分子の化学種とエッセンシャルオイルのモノグラフの理解が進むにつれて、レシピに加えるエッセンシャルオイルも多くなり、処方研究もより丁寧さが求められます。</p> <p>※講義時間外にブレンドオイルを各自作ります。</p>

<p>第5章 芳香分子の化学種</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ケトン類 ・ ジテルペノール類 	<p>第6章 エッセンシャルオイルのモノグラフ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ユーカリシトリオドラ (処方研究：肩凝り・寝違え) ・ レモンガラス (処方研究：リンパドレナージュ) ・ シナモン (処方研究：疲労困憊) ・ スパイクラベンダー (処方研究：筋肉痛) ・ セージ ・ システ (ロックローズ) ・ クラリセージ (処方研究：生理痛) 	<p>処方研究も徐々に複雑になっていきます。</p> <p>また、代替できる他のエッセンシャルオイルはないか？ 加えたら、さらにブレンドがよくなるエッセンシャルオイルはないか？ 配合比率は？ など、テキストに記載されているレシピではなく、オリジナルブレンドも考えてみてください。</p> <p>※講義時間外にブレンドオイルを各自作ります。</p>
<p>第5章 芳香分子の化学種</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ セスキテルペン類 ・ アズレン類 ・ ジテルペン類 	<p>第6章 エッセンシャルオイルのモノグラフ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ イランイラン (処方研究1：フェイシャルケア) (処方研究2：セルライト) (処方研究3：ボディケア) (処方研究4：スカルプケア) ・ サイプレス (処方研究：脚のむくみ) ・ ジンジャー (処方研究：胃痛) 	<p>テキストに掲載されているレシピを軸に、各自がオリジナルブレンドを考えます。</p> <p>※講義時間外にブレンドオイルを各自作ります。</p>

<p>第5章 芳香分子の化学種</p> <ul style="list-style-type: none"> ・セスキテルペノール類 ・フェノール類 ・ジオン類 ・ラクトン類 ・フタライド類 ・含窒素化合物 ・含硫黄化合物 	<p>第6章 エッセンシャルオイルのモノグラフ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ キャロット・シード ・ ユーカリグロブルス (処方研究：痰を伴う咳) ・ タイム・チモール ・ タイム・リナロール ・ オレガノ (処方研究：膀胱炎) ・ クローブ ・ ヘリクリサム (処方研究：手足の冷え、しもやけ) 	<p>芳香成分とその集合体であるエッセンシャルオイルの性質や特徴を両方向から捉えながら、より完成されたブレンドができるように、いままでの講義を振り返りながらマッサージオイル、ローション、芳香浴用ブレンドなど、用途別のブレンドのルールとコツを学びます。</p> <p>※講義時間外にブレンドオイルを各自作ります。</p>
<p>ブレンドについて</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ マッサージオイル ・ ローション ・ 芳香浴用ブレンド など 		

注) 講義の進行状況、受講生からの質問等によって予定が前後したり、変更になる場合があります。